

委員会議事概要目次

No	回数	開催日	曜日	開催時間	審議内容	ページ
1	12	平成17年4月28日	木	14:20～15:40	初動報告	1～2
2	13	平成17年8月4日	木	10:30～14:30	経過報告審議	3～5
3	14	平成17年8月11日	木	10:30～12:00	経過報告審議	6～7
4	15	平成17年8月18日	木	10:30～15:25	経過報告審議	8～10
5	16	平成17年8月23日	火	10:30～15:00	経過報告審議	11～13
6	17	平成17年8月25日	木	13:30～16:30	経過報告審議	14～15
7	18	平成17年9月1日	木	10:30～16:30	経過報告議決	16～17
8	19	平成18年4月20日	木	15:00～17:00	今後の調査について	18～19
9	20	平成18年9月6日	水	10:30～16:45	事実調査の審議	20～21
10	21	平成18年9月13日	水	10:30～15:30	事実調査の審議	22～23
11	22	平成18年9月28日	木	10:30～13:30	事実調査の審議	24
12	23	平成18年10月11日	水	10:30～18:00	事実調査の審議	25
13	24	平成18年10月26日	水	10:30～16:15	事実調査の審議	26
14	25	平成18年11月8日	水	10:30～15:30	事実調査の審議	27
15	26	平成18年11月16日	木	10:30～15:50	事実調査の審議	28
16	27	平成18年11月22日	水	10:30～16:30	事実調査の審議	29
17	28	平成18年11月30日	木	10:30～17:00	事実調査の審議	30
18	29	平成18年12月6日	水	10:30～19:00	事実調査の審議	31
19	30	平成18年12月11日	月	10:30～15:30	事実調査の審議	32
20	31	平成18年12月14日	木	14:00～16:30	事実調査の案議決	33～35
21	32	平成19年1月18日	木	10:30～11:30	意見聴取会の審議	36
22	33	平成19年1月24日	水	10:30～11:20	意見聴取会の審議	37
23	34	平成19年2月1日	木	10:00～17:12	意見聴取会	—
24	35	平成19年4月5日	木	10:30～16:00	第3章以降の審議	38～39
25	36	平成19年4月19日	木	10:30～17:10	第3章以降の審議	40
26	37	平成19年5月1日	火	13:30～20:50	第3章以降の審議	41
27	38	平成19年5月11日	金	10:00～17:20	第3章以降の審議	42
28	39	平成19年5月17日	木	10:30～17:10	第3章以降の審議	43
29	40	平成19年5月24日	木	09:00～12:40	第3章以降の審議	44
30	41	平成19年6月7日	木	10:30～17:40	第3章以降の審議	45
31	42	平成19年6月15日	金	10:30～15:30	第3章以降の審議	46
32	43	平成19年6月22日	金	13:30～14:30	最終報告書議決	47

1. 日時及び場所

平成17年4月28日(木) 14時20分～15時40分

委員会会議室

2. 出席者

佐藤委員長 楠木委員 加藤委員 松浦委員 垣本委員 松尾委員

佐藤委員 中川委員 宮本委員 山口委員

福本事務局長 原総務課長 片野調査企画官

富田首席航空事故調査官 菅野次席航空事故調査官

中桐首席鉄道事故調査官 押立次席鉄道事故調査官

三浦・荒川・太田鉄道事故調査官

3. 議題、審議の概要及びその他の事項

(1) 報告事項

事務局から、西日本旅客鉄道(株)福知山線列車脱線事故に関する初動調査状況報告について、説明があった。また、宮本委員から、現地での初動調査により判明した点、今後の調査においてポイントになるのではないかと考えられる点等について説明があった。

(2) 審議事項

- ① 事務局から、西日本旅客鉄道(株)福知山線列車脱線事故調査の今後の進め方について、分析する必要がある物的証拠(事故現場のレール、列車車体等)及び警察の協力により口述や運転士の検死結果等の証拠収集を行うとの説明があった。
- ② 事務局から、西日本旅客鉄道(株)福知山線列車脱線事故調査に係る「専門調査部会」の設置について説明があり、「専門調査部会」の設置について承認された。また、本件事故調査において、車両

に係る調査に関し須田義大氏を専門委員に任命することについて承認された。

「専門調査部会」の設置については、委員から事故時の列車の動きだけではなく、運転士の事故時の心理状態やJR西日本の労働管理の実態についても解明すべきであり、専門委員にはヒューマンファクターの専門家が必要となるのではないか等の意見があった。

(3) その他の事項

連休中の連絡体制について、事務局から説明があった。

1. 日時及び場所

平成17年8月4日(木) 10時30分～14時30分

委員会会議室

2. 出席者

佐藤委員長 楠木委員 加藤委員 松浦委員 垣本委員

佐藤委員 中川委員 宮本委員 山口委員

福本事務局長 吉澤総務課長 片野調査企画官

富田首席航空事故調査官

中桐首席鉄道事故調査官 押立次席鉄道事故調査官

高野・岩田・山本(春)・秋山・南京・米元・山本(隆)。

武田鉄道事故調査官

3. 議題等

(1) 事務局から、西日本旅客鉄道(株)福知山線列車脱線事故の調査報告について、以下のとおり説明があった。

・調査の概要(案)について

・速度計プログラムの誤差について

①福知山線線路図について

②事故現場付近の地形図について

③事故現場略図について

④主な鉄道施設の損傷等について

⑤施設及び車両の付着物の成分分析結果について

⑥宝塚駅略図について

⑦伊丹駅略図について

⑧車両形式図について

⑨ATS-P記録部に残されていた記録の概要について

⑩事故当日の本件運転士の乗務行路について

○各委員からの意見等

・世間では沢山の情報が流れていて、事故報告書に関しても、勝手な筋書きが横行しているように思われるが、公式なものはこれが最初であるから、まずは事故調査についての概要等の説明を十分に聞き、ある程度の案が出来た上で、意見を述べた方がよいのではないか。

・調査を細かく実施していくと、期日どおりにまとめるのは困難と思われるため、どこかの時点で見切って経過報告をしてしまうのか、あるいは、ある程度の目標を定めたものが出来上がるまで、時間を掛けて経過報告するのかのどちらかだと思う。

・最終的に建議等の案が出来た上で、経過報告の内容を検討するような形がよいのではないか。

・今回の事故では、鉄道に関係のない人が多くかかわっているため、経過報告は、あまり専門的にならずに、一般の人にも理解が得やすいような記述にした方がよいと思う。

・ヒューマンエラー等については、プライバシー等の問題など記述が難しいと思われるので、注意する必要がある。

(2) 事務局から、事故等調査報告書作成要領の一部改正(案)(超軽量動力機等用簡易様式の追加等)について、改正が必要な理由等の説明があった後、原案のとおり了承となった。

4. その他の事項

○事務局から、委員会終了後に実施予定の記者レクについて、説明があった。

○次回の委員会を、平成17年8月11日(木)10:30から開催する旨確認された。

1. 日時及び場所

平成17年8月11日(木) 10時30分～12時00分

委員会会議室

2. 出席者

佐藤委員長 楠木委員 加藤委員 松浦委員 垣本委員 松尾委員

佐藤委員 中川委員 宮本委員 山口委員

福本事務局長 吉澤総務課長 片野調査企画官

富田首席航空事故調査官 菅野次席航空事故調査官

中桐首席鉄道事故調査官 押立次席鉄道事故調査官

高野・杉山・岩田・秋山・南京・米元・日比野・武田鉄道事故調査官

3. 議題等

○事務局から、西日本旅客鉄道(株)福知山線列車脱線事故の調査報告について、以下のとおり説明があった。

(1)車両の損傷状況等(1両目)について

(2)車両の損傷状況等(2両目)について

(3)車両の損傷状況等(3両目)について

(4)車両の損傷状況等(4両目及び5両目)について

(5)車両の損傷状況等(6両目及び7両目)について

参考資料

①車両モニター装置に残されていた記録の概要(現場付近、確認中)について

②車両モニター装置に残されていた記録の概要(伊丹駅進入時、確認中)について

③ブレーキ装置の概要図について

前回委員会説明資料について情報の追加

①事故現場略図について

(マンション付近のキロ程、列車後端のキロ程の追加等)

②主な鉄道施設の損傷等について

(まくら木の損傷写真にまくら木位置の番号を追加等)

○各委員からの意見等

- ・車両モニター装置にはブレーキ以外で何が記録されているのか。
- ・直通予備ブレーキ装置は(床下の)どこに付いているのか。
- ・車両の4両目及び5両目の中で、軌道回路が何らかのかたちで対向車線を短絡していたのか、又はどのような可能性があるのか。
- ・車両モニター装置に残されていた記録の概要で、伊丹駅の方は、“車掌引きスイッチ”及び“ブレーキレバー位置”の記載があるが、現場付近の方は？
- ・それぞれの車両に違うタイプの記録機器が乗っているようなので、そのうちのどれを使って、最終的に結論をだすのかを混乱しないように記述してほしい。(例えば、ATS-Pの記録というのは、装置としてはATS-Pの装置に記録されいたものであるが、作動していたのは、ATS-SWが作動していたその記録であるというように、一般の人が誤解をしないようにする。)
- ・車両モニター装置に残されていた記録の概要については、宝塚駅のデータもあった方が分かりやすい。

4. その他の事項

○次回の委員会を、平成17年8月18日(木)10:30から開催する旨確認された。

1. 日時及び場所

平成17年8月18日(木) 10時30分～15時25分

委員会会議室

2. 出席者

佐藤委員長 楠木委員 加藤委員 松浦委員 垣本委員 松尾委員

佐藤委員 中川委員 宮本委員 山口委員

福本事務局長 吉澤総務課長 片野調査企画官

富田首席航空事故調査官 菅野次席航空事故調査官

中桐首席鉄道事故調査官 押立次席鉄道事故調査官

高野・杉山・岩田・山本春・秋山・南京・米元・山本隆・日比野・

武田鉄道事故調査官

3. 議題等

(1) 事務局から、西日本旅客鉄道株式会社福知山線における列車脱線

事故に係る鉄道事故調査について(経過報告)〈素案〉について、

説明があった。

○各委員からの意見等

- ・今現在までに、どのように調査したのか時系列的な資料を出してほしい。

- ・文中の上り、下り、実測キロ程等については、最初に定義した方が分かりやすいのではないか。

- ・車両の前後左右等分かりやすいように、付図の中に方位を入れた方が分かりやすいのではないか。

- ・本文中と付図中の用語が違っているものが見られるので整理した方がよい。

- ・制限速度〇〇キロのところを〇〇キロで走行したというような、知り得ている行動上の事実情報等を加えた方がよいのではないか。
- ・“乗務員に関する情報”について、入社年月日及び直近の身体検査日等を加えた方がよいのではないか。
- ・文中の最初のところで、死亡者だけでなく、重軽傷者についても書き加えた方がよいのではないか。
- ・項目ごとに書き方や詳しさにむらがあるように思うので、文章を付け加える等の工夫をした方がよいと思う。また、速度計の部分については、もう少し簡略に記述した方がよいのではないか。

(2) 事務局から、西日本旅客鉄道株式会社福知山線列車脱線事故に係る建議について(建議第 号)〈素案〉について、説明があった。

○各委員からの意見等

- ・“2”については、建議の中に入れるべきなのか検討の必要があるのではないか。
- ・“4”中に、ハード面の信頼性向上を図るだけでなく、それを緊急時にも的確に操作できるように徹底させることを加えた方がよいのではないか。
- ・“4”中に、異常時には規定等に頼るのではなく、ハード面でカバーすべきであることを明確に記述した方がよいのではないか。
- ・公表済みの調査報告書を取りあげている部分の記述については、検討する必要があるのではないか。
- ・前段の部分については、経過報告と同様に記述した方がよい。
- ・建議については、誰が読んでも再発防止対策等の検討が早急に必要であるものを先に出すべきであり、その点から言うと“2”及び“3”については、検討する必要がある。また、記述する順番についても検討する必要があるのではないか。

4. その他の事項

○次回の委員会を、平成17年8月23日(火)10:30から開催する旨確認された。

1. 日時及び場所

平成17年8月23日(火) 10時30分～15時00分

委員会会議室

2. 出席者

佐藤委員長 楠木委員 加藤委員 松浦委員 垣本委員 松尾委員

佐藤委員 中川委員 宮本委員 山口委員

福本事務局長 吉澤総務課長 片野調査企画官

菅野次席航空事故調査官

中桐首席鉄道事故調査官 押立次席鉄道事故調査官

高野・杉山・山本春・秋山・米元・山本隆・日比野・

武田鉄道事故調査官

3. 議題等

(1) 事務局から、西日本旅客鉄道株式会社福知山線における列車脱線事故に係る鉄道事故調査について(経過報告)、前回からの修正箇所等の説明があった。

○各委員からの意見等

・「2.5(3)」中の“車輪径794mmの場合について試算すると…”については、速度の誤差が最も大きくなる径であると思われるため、どれくらいの範囲に入っている値なのか分かるようにした方がよいのではないか。

・「1.1」の付図の参照のところに、付図12も加えた方がよいのではないか。

・「2.2」中に、軌道の損傷についての事実情報を加えた方がよいのではないか。

- ・「2.2(2)」中の各車両の損傷状況について、それぞれ“1両目については、横転して止まっていたこと”、“3両目については、前と後ろが反転していたこと”及び“4両目については、対向車線の方に入り込んでいたこと”等の状況を加えた方がよいのではないか。
- ・「1.1(5)」中の“名神高速道路・・・”の部分については、必要ないのではないか。
- ・「2.2(2)⑤」中の窓ガラスが損傷していたことについては、他の車両も同様と思われるため、必要ないのではないか。
- ・「2.5(5)」中の一部については、もう少し分かりやすく記述した方がよいのではないか。
- ・「2.2(2)④」中の一部については、“中央部右側面が39号柱に接触して・・・”と順番を入れ替えた方がよいのではないか。
- ・「2.2(3)」中の一部については、“マンション北側広場に設置されていた機械式駐車場・・・マンション1階に設置されていた・・・”と改めた方がよいのではないか。

(2) 事務局から、西日本旅客鉄道株式会社福知山線列車脱線事故に係る建議について(建議第 号)前回からの修正箇所等の説明があった。

○各委員からの意見等

- ・「2」中の一部については、“また予備電源も設けられていなかったもので、作動しない状況にあった。”と改めた方がよいのではないか。
- ・過去の報告書で指摘してるものを載せることについては、再度、検討した方がよいのではないか。

(乙)

国土交通省

。「4」中の一部については、「・・・発生につながり、また列車の安全な走行に支障を来すおそれがあるので、・・・」と改めた方がよいのではないか。

4. その他の事項

○次回の委員会を、平成17年8月25日(木)13:30から開催する旨確認された。

1. 日時及び場所

平成17年8月25日(木) 13時30分～16時30分

委員会会議室

2. 出席者

佐藤委員長 楠木委員 加藤委員 松浦委員 垣本委員 松尾委員

佐藤委員 中川委員 宮本委員 山口委員

福本事務局長 吉澤総務課長 片野調査企画官

菅野次席航空事故調査官

中桐首席鉄道事故調査官 押立次席鉄道事故調査官

高野・杉山・岩田・山本春・秋山・米元・山本隆・日比野・

武田鉄道事故調査官

3. 議題等

(1) 事務局から、西日本旅客鉄道株式会社福知山線における列車脱線事故に係る鉄道事故調査について(経過報告)、前回からの修正箇所等の説明があった。

○各委員からの意見等

- ・「2.4(1)」中の運転士の勤務状況で、4月22日から23日にかけても、出先において宿泊していたことを加えた方がよいのではないか。
- ・本文中の脚注4「ATS-P形」中に、それだけが余分に必要であると思われぬように“ATS-SW形と同様に”を加えた方がよいのではないか。
- ・「2.6(4)」中の“伊丹駅到着時に列車停止位置目標を約70m行き過ぎ”については、付図9中に分かりやすく示した方がよいのではないか。

- ・「1.1(5)」中の負傷者については、“・・・同社から報告のあった暫定数〇〇名”と改めた方がよいのではないか。
- ・「2.4(3)」及び「付図12」の一部については、「2.3」中の記述で分かるため、必要ないのではないか。
- ・「2.6(1)」表中の“車体幅”、“車両幅”については、どちらかの一つでよいのではないか。
- ・「2.6(4)」中の一部については、“伊丹駅到着時・・・行き過ぎ、その後停止位置目標付近まで後退した・・・”と改めた方がよいのではないか。
- ・「2.2(3)」中には、マンション本体の損傷についての記述も加えた方がよいのではないか。

(2) 事務局から、西日本旅客鉄道株式会社福知山線列車脱線事故に係る建議について、前回からの修正箇所等の説明があった。

○各委員からの意見等

- ・「4」中の一部については、“速度計は列車を運転する上で重要な機器であり”と改めた方がよいのではないか。
- ・「2」中の一部については、“・・・列車防護の確実な実行が行われるよう”と改めた方がよいのではないか。
- ・「3」中の一部で、列車が行き過ぎて戻ったことについては、経過報告と同様な表現に改めた方がよいのではないか。
- ・「3」中の一部については、“非常ブレーキ作動で列車が停止したという事象が・・・”と改めた方がよいのではないか。

4. その他の事項

○次回の委員会を、平成17年9月1日(木)10:30から開催する旨確認された。

1. 日時及び場所

平成17年9月1日(木) 10時30分～16時30分

委員会会議室

2. 出席者

佐藤委員長 楠木委員 加藤委員 松浦委員 垣本委員 松尾委員

佐藤委員 中川委員 宮本委員 山口委員

福本事務局長 吉澤総務課長 片野調査企画官

富田首席航空事故調査官 菅野次席航空事故調査官

中桐首席鉄道事故調査官 押立次席鉄道事故調査官

高野・杉山・岩田・山本春・秋山・南京・米元・山本隆・日比野・

武田鉄道事故調査官

3. 議題等

○審議事項

(1) 事務局から、「西日本旅客鉄道株式会社福知山線における列車脱線事故に係る鉄道事故調査について(経過報告)」について、前回からの修正箇所等の説明があった後、審議が行われ、一部文章表現の修正に関する意見等があり、意見に沿った修正を加えた上で、議決となった。

(2) 事務局から、「西日本旅客鉄道株式会社福知山線における列車脱線事故に係る建議について」について、前回からの修正箇所等の説明があった後、審議が行われ、一部文章表現の修正に関する意見等があり、意見に沿った修正を加えた上で、議決となった。

また、公表については、9月6日(火)9時30分からとなった。

4. その他の事項

(1) 事務局から、「西日本旅客鉄道株式会社福知山線における列車脱線事故に係る経過報告及び建議の被害者への説明について」の説明等があり、今後の対応等(以下のとおり)について確認された。

① 9月2日(金)にプレスレクを実施する。

② 9月6日(火)以降、ホームページへ掲載する。

③ 地元である近畿運輸局の窓口へ300部郵送する。

④ 当委員会への直接の依頼等に対しては、可能な範囲内で対応する。

(2) 事務局から、「航空・鉄道事故調査体制の強化(平成18年度)」について、説明があった。

1. 日時及び場所

平成18年4月20日(木) 15時00分～17時00分

委員会会議室

2. 出席者

佐藤委員長 楠木委員 加藤委員 豊岡委員 松尾委員

佐藤委員 中川委員 宮本委員 山口委員

福本事務局長 吉澤総務課長、北村企画調整課長

富田首席航空事故調査官 原田次席航空事故調査官

中桐首席鉄道事故調査官 押立・横井次席鉄道事故調査官

高野・杉山・鈴木・岩田・山本春・村田・米元・武田・

南京鉄道事故調査官

3. 議題等

○報告事項

事務局から、西日本旅客鉄道株式会社福知山線における列車脱線
事故の調査状況について説明があった。

・福知山線列車脱線事故調査の全体構成と進捗状況

1. 事故列車の位置及び速度、機器の操作及び状況、指令所との交
信状況等に関する解析
2. 脱線前後の車両挙動等の解析（シミュレーション有り）
3. 当該運転士の健康状態、心理状態等に関する解析
4. 列車ダイヤに関する解析
5. 乗務員管理に関する解析
6. 曲線速度超過防止のためのATS整備に関する解析
7. 安全管理体制に関する解析
8. サバイバルファクタに関する解析

○審議事項

事務局から、当委員会規程類の一部改正について説明を行った後、
原案のとおり了承された。

なお、「事故に伴い発生した被害の原因を究明するための調査」
を実施する対象とする事故の範囲及び調査の具体的な記載内容につ
いては、事務局内で慎重に検討する必要がある、関係規程の改正は
7月を目標に進めることとなった。

4. その他の事項

事務局から、「西日本旅客鉄道株式会社福知山線における列車脱
線事故発生より1年を迎えるにあたって」のプレス対応及び今後の
進め方について説明があり、下記のとおり確認された。

①4月24日(月)にプレスレクを実施する。

②最終報告書を来年2月(意見聴取会は今年の秋頃)を目標に取り
組む

1. 日時及び場所

平成18年9月6日(水) 10時30分～16時45分

委員会会議室

2. 出席者

佐藤委員長 楠木委員 加藤委員 豊岡委員 垣本委員、松尾委員

佐藤委員 中川委員 宮本委員 山口委員

各務事務局長 宮崎総務課長 北村企画調整課長

台木首席航空事故調査官 原田次席航空事故調査官

中桐首席鉄道事故調査官 押立・横井次席鉄道事故調査官

高野・岩田・杉山・鈴木・岩田・佐々木・村田・米元・武田・七宮

鉄道事故調査官

3. 議題等

○報告事項

事務局から、西日本旅客鉄道株式会社福知山線における列車脱線事故に係る鉄道事故調査について説明があった。

各委員より上記調査報告に関して意見、感想が述べられ、今後の作業における方針が検討された。

○審議事項

事務局から、「重大事故調査実施要領」、「事故等報告書作成要領」の改正案について説明があった後、審議が行われ、一部文章表現の修正に関する意見等があり、引き続き次回以降の委員会で審議することとなった。

4. その他の事項

○事務局から、「西日本旅客鉄道株式会社福知山線における列車脱

線事故に係る審議内容」についてのプレス対応及び今後の進め方について説明があり、対応ぶりについて確認された。

○ 次回の委員会を平成18年9月13日(水) 10:30から開催する旨確認された。

1. 日時及び場所

平成18年9月13日(水) 10時30分～15時30分

委員会会議室

2. 出席者

佐藤委員長 楠木委員 加藤委員 豊岡委員 垣本委員 松尾委員

佐藤委員 中川委員 宮本委員 山口委員

各務事務局長 宮崎総務課長 北村企画調整課長

原田次席航空事故調査官

中桐首席鉄道事故調査官 押立・横井次席鉄道事故調査官

高野・岩田・杉山・鈴木・岩田・佐々木・村田・米元・武田・七宮

鉄道事故調査官

3. 議題等

○西日本旅客鉄道(株)福知山線における列車脱線事故に係る鉄道事故調査について

前回委員会に引き続き同調査報告について、各委員から意見等があった。

・一般の方も専門家の方も共に読んで理解できるように、本文は一般の方向けに編集し、専門家の方のために巻末に参考資料を付けるといった構成にしてはどうか。

・車掌と運転士の人間関係を入れたほうがよいのではないか。

・車掌と指令との無線のやりとりが運転士にも聞こえていたことを記述してはどうか。

・日勤教育について説明がほしい。

・脱線原因を特定するための情報が必要。

・事情聴取の記録、交信記録をありのまま記述することは問題は

ないか

・運転士へのヒアリング調査については、その取り扱いに工夫が必要である。

・修正箇所については、項目ごとに加除式にして事務局の負担を軽減してはどうか。

○委員会規程類の一部改正について

事務局から、「重大事故調査実施要領」、「事故等報告書作成要領」の改正案について、前回からの修正箇所等の説明があった後、審議が行われ、一部文章表現の修正に関する意見等があり、意見に沿った修正を加えた上で、了承となった。

4. その他の事項

○ 次回の委員会を平成18年9月28日（木）10：30から開催する旨確認された。

1. 日時及び場所

平成18年9月28日(木) 10時30分～13時30分

委員会会議室

2. 出席者

佐藤委員長 楠木委員 加藤委員 豊岡委員

佐藤委員 中川委員 宮本委員 山口委員

各務事務局長 宮崎総務課長 北村企画調整課長

台木首席航空事故調査官 原田次席航空事故調査官

中桐首席鉄道事故調査官 押立・横井次席鉄道事故調査官

高野・岩田・杉山・鈴木・岩田・佐々木・村田・米元・武田

鉄道事故調査官

3. 議題等

○西日本旅客鉄道(株)福知山線における列車脱線事故に係る鉄道事故調査について

同調査報告について、各委員から意見等があった。

- ・車両中央部に肘掛けや手すり等設備の必要性のほかに、車両構造の強化を記述してはどうか。
- ・会社における教育訓練及び救助の体制はどうだったか。
- ・速度制限標識は目立つよう工夫が必要なことを記述してはどうか。

4. その他の事項

○ 次回の委員会を平成18年10月11日(水) 10:30から開催する旨確認された。

1. 日時及び場所

平成18年10月11日(水) 10時30分～18時00分

委員会会議室

2. 出席者

佐藤委員長 楠木委員 加藤委員 豊岡委員 垣本委員 松尾委員

佐藤委員 中川委員 宮本委員 山口委員

各務事務局長 宮崎総務課長 北村企画調整課長

台木首席航空事故調査官 原田次席航空事故調査官

中桐首席鉄道事故調査官 押立・横井次席鉄道事故調査官

高野・鈴村・村田・田中・武田鉄道事故調査官

3. 議題等

○西日本旅客鉄道(株)福知山線における列車脱線事故に係る鉄道事故調査について

同調査報告について、各委員から意見等があった。

・報告書の編集について、主管調査官に任せることとしてはどうか。

・委託した脱線シミュレーション結果と、事務局で行った簡易的な力学計算の結果との比較を記述してはどうか。

・ブレーキに関する調査は、確実に行うほうがよい。

4. その他の事項

○ 次回の委員会を平成18年10月26日(木) 10:30から開催する旨確認された。

1. 日時及び場所

平成18年10月26日(水) 10時30分～16時15分

委員会会議室

2. 出席者

佐藤委員長 楠木委員 加藤委員 豊岡委員

佐藤委員 中川委員 宮本委員 山口委員

各務事務局長 宮崎総務課長 北村企画調整課長

台木首席航空事故調査官 原田次席航空事故調査官

中桐首席鉄道事故調査官 押立・横井次席鉄道事故調査官

高野・鈴木・佐々木・岩田・村田・清水・田中・武田・南京

鉄道事故調査官

3. 議題等

○西日本旅客鉄道(株)福知山線における列車脱線事故に係る鉄道事故調査について

同調査報告について、各委員から意見等があった。

・修正履歴が分かるようにしたほうがよい。

・付図31、32、33については、補足を加える等注意を払う必要がある。

・本文中において、省略した記号や書き方の定義については、一覧表を作成し読みやすくしたほうがよいのではないか。

4. その他の事項

○ 次回の委員会を平成18年11月8日(水) 10:30から開催する旨確認された。

1. 日時及び場所

平成18年11月8日(水) 10時30分～15時30分

委員会会議室

2. 出席者

佐藤委員長 楠木委員 加藤委員 豊岡委員 垣本委員 松尾委員

佐藤委員 中川委員 山口委員

各務事務局長 宮崎総務課長 北村企画調整課長

台木首席航空事故調査官 原田次席航空事故調査官

中桐首席鉄道事故調査官 押立・横井次席鉄道事故調査官

高野・鈴木・佐々木・岩田・村田・清水・田中・武田・南京

鉄道事故調査官

3. 議題等

○西日本旅客鉄道(株)福知山線における列車脱線事故に係る鉄道事故調査について

同調査報告について、各委員から意見等があった。

・運転士のブレーキ操作について記述してはどうか。

・口述について、結論に影響しないところは書き方を工夫したほうがよい。

・本事故発生直後の同社の対応について記述したほうがよい。

4. その他の事項

○ 次回の委員会を平成18年11月16日(木) 10:30から開催する旨確認された。

1. 日時及び場所

平成18年11月16日(木) 10時30分～15時50分

委員会会議室

2. 出席者

佐藤委員長 楠木委員 加藤委員 豊岡委員

佐藤委員 中川委員 宮本委員 山口委員

各務事務局長 宮崎総務課長 北村企画調整課長

台木首席航空事故調査官 原田次席航空事故調査官

中桐首席鉄道事故調査官 押立・横井次席鉄道事故調査官

鈴木・佐々木・岩田・村田・清水・田中・武田・南京

鉄道事故調査官

3. 議題等

○西日本旅客鉄道(株)福知山線における列車脱線事故に係る鉄道事故調査について

同調査報告について、各委員から意見等があった。

・会社概要を記述してはどうか。

・サバイバルファクターのところは書き方を工夫したほうがよい。

・用語集、脚注表等を作成すると読みやすくなる。

4. その他の事項

○ 次回の委員会を平成18年11月22日(水) 10:30から開催する旨確認された。

1. 日時及び場所

平成18年11月22日(水) 10時30分～16時30分

委員会会議室

2. 出席者

佐藤委員長 楠木委員 加藤委員 豊岡委員 垣本委員 松尾委員

佐藤委員 中川委員 山口委員

各務事務局長 宮崎総務課長 北村企画調整課長

台木首席航空事故調査官

中桐首席鉄道事故調査官 押立・横井次席鉄道事故調査官

高野・鈴木・佐々木・岩田・村田・清水・田中・武田・南京

鉄道事故調査官

3. 議題等

○西日本旅客鉄道(株)福知山線における列車脱線事故に係る鉄道事故調査について

同調査報告について、各委員から意見等があった。

・組織図を記述してはどうか。

・規程の引用箇所は斜体文字にしてはどうか。

・脚注、略語、定義は本文とは別にし、意味づけは本文に入れてはどうか。

4. その他の事項

○ 次回の委員会を平成18年11月30日(木) 10:30から開催する旨確認された。

1. 日時及び場所

平成18年11月30日(木) 10時30分～17時00分

委員会会議室

2. 出席者

佐藤委員長 楠木委員 加藤委員 豊岡委員

佐藤委員 中川委員 宮本委員 山口委員

各務事務局長 宮崎総務課長 北村企画調整課長

台木首席航空事故調査官 原田次席航空事故調査官

中桐首席鉄道事故調査官 押立・横井次席鉄道事故調査官

高野・鈴木・佐々木・岩田・村田・清水・田中・武田・南京

鉄道事故調査官

3. 議題等

○西日本旅客鉄道(株)福知山線列車脱線事故に事実調査に関する
報告書(案)の審議について

同調査報告について、各委員から意見等があった。

- ・ ページ数は無理をしない程度に削減してはどうか。
- ・ 付函についてよみやすくしたほうがよい。
- ・ 同社の規程類については、本事故とあまり関係のない箇所を省略したほうがよい。

4. その他の事項

○ 次回の委員会を平成18年12月6日(水) 10:30から開催
する旨確認された。

1. 日時及び場所

平成18年12月6日(水) 10時30分～19時00分

委員会会議室

2. 出席者

佐藤委員長 楠木委員 加藤委員 豊岡委員 垣本委員

佐藤委員 中川委員 宮本委員 山口委員 須田専門委員

各務事務局長 宮崎総務課長 北村企画調整課長

台木首席航空事故調査官 原田次席航空事故調査官

中桐首席鉄道事故調査官 押立・横井次席鉄道事故調査官

高野・鈴木・佐々木・岩田・村田・清水・田中・武田・南京

鉄道事故調査官

3. 議題等

○西日本旅客鉄道(株)福知山線列車脱線事故の事実調査に関する
報告書(案)について

同調査報告について、各委員から意見等があった。

- ・各種試験の目的を記述してはどうか。
- ・付図について削除したほうがよいものがある。
- ・負傷状況の結果については記述しないほうがよい。

○西日本旅客鉄道(株)福知山線列車脱線事故に係る意見聴取会に
おける公述を委嘱する者(参考人)の有無について

・事務局(案)のとおり参考人を必要とすることが了承された。

4. その他の事項

○ 次回の委員会を平成18年12月11日(月) 10:30から開催
する旨確認された。

1. 日時及び場所

平成18年12月11日(月) 10時30分～15時30分

委員会会議室

2. 出席者

佐藤委員長 楠木委員 加藤委員 豊岡委員 松尾委員

佐藤委員 中川委員 山口委員

各務事務局長 宮崎総務課長 北村企画調整課長

台木首席航空事故調査官 原田次席航空事故調査官

中桐首席鉄道事故調査官 押立・横井次席鉄道事故調査官

高野・鈴木・佐々木・岩田・村田・清水・田中・武田・南京

鉄道事故調査官

3. 議題等

○西日本旅客鉄道(株)福知山線列車脱線事故の事実調査に関する

報告書(案)について

同調査報告について、各委員から意見等があった。

・付図のタイトルは読みやすく工夫してはどうか。

・列車事故の事例は同じ項目にまとめてはどうか。

4. その他の事項

○次回の委員会を平成18年12月14日(木) 14:00から

開催する旨確認された。

1. 日時及び場所

平成18年12月14日(木) 14時00分～16時30分

委員会会議室

2. 出席者

佐藤委員長 楠木委員 加藤委員 豊岡委員 垣本委員 松尾委員

佐藤委員 中川委員 宮本委員 山口委員

各務事務局長 宮崎総務課長 北村企画調整課長

台本首席航空事故調査官 原田次席航空事故調査官

中桐首席鉄道事故調査官 押立・横井次席鉄道事故調査官

高野・鈴木・佐々木・岩田・村田・清水・田中・武田・南京

鉄道事故調査官

3. 議題等

○西日本旅客鉄道(株)福知山線列車脱線事故の事実調査に関する

報告書(案)について

前回からの修正箇所等の説明があった後、審議が行われ、一部

文章表現の修正に関する意見等があり、意見に沿った修正を加

えた上で、了承された。

4. その他の事項

○事務局から、意見聴取会に係る公示関係について、①事案の件

名、②開催日時、③開催場所、④公述の申込みの提出場所及び

締切日、⑤委員会の掲示板以外の公示文の掲示場所、⑥事務局

以外の「事実調査に関する報告書の案」の閲覧場所、⑦公示日、

の説明があり、別添公示(案)のとおり了承された。

意見聴取会の開催に関する公示（案）

航空・鉄道事故調査委員会設置法第19条第3項の規定により次のとおり意見聴取会を開催しますので、公示します。

平成18年12月20日

国土交通省航空・鉄道事故調査委員会

1. 事案の件名

西日本旅客鉄道株式会社福知山線における列車脱線事故について

2. 開催日時

平成19年2月1日（木） 10時00分から

3. 開催場所

国土交通省共用会議室A

東京都千代田区霞ヶ関2丁目1番3号 中央合同庁舎第3号館（10階）

4. 公述の申込み

意見聴取会において公述しようとする方（当該鉄道事故の関係者又は学識経験のある方に限ります。）は、公述申込書及び公述書を当委員会（〒100-8918 東京都千代田区霞ヶ関2丁目1番2号）あて、平成19年1月16日までに到着するようお送り下さい。

公述申込書には、氏名、住所、職業（具体的に）、年齢及び自宅、勤務先等連絡先の電話番号を記載して下さい。

公述書には、氏名及び公述しようとする内容を具体的に記載して下さい。

なお、公述書には、証拠資料を添付することができます。

また、非公開を希望される場合には、その旨を公述申込書に明記して下さい。

当委員会は、提出された公述申込書及び公述書等を審査して、当該鉄道事故の原因の究明に役立つと認められたときは、公述の申込みをした者のうちから公述人を選定し、公述を申込まれた方には、その結果を通知します。

公述は、公述書に記載されたところに従って行わなければなりません。

なお、議事の進行の整理の必要上、公述時間を制限することがあります。

5. 傍聴の申込み

意見聴取会の傍聴を希望される方は、郵便往復はがきに住所、氏名及び年齢を記載し、返信用はがきにあて先を記入したうえ、当委員会（公述申込みの住所と同じ）あて平成19年1月16日までに到着するようお申込み下さい（1人1通に限る。）。

傍聴人は、150人以内とします。申込者多数の場合は抽選により選定し、傍聴を申込まれた方には、その結果を送付します。

6. 事実調査に関する報告書の案の閲覧場所

担当主管調査官が作成した本事案の「事実調査に関する報告書の案」を平成18年12月20日から平成19年1月31日までの間、次の場所で閲覧することができます。

国土交通省情報公開・文書閲覧窓口

東京都千代田区霞ヶ関2丁目1番3号 中央合同庁舎第3号館（5階525号室）

問い合わせ先 航空・鉄道事故調査委員会事務局

電話 03（5253）8813

国土交通省近畿運輸局鉄道部監理課

大阪府中央区大手前4丁目1-76 大阪合同庁舎第4号館（11階）

電話 06（6949）6439

7. 意見聴取会の運営等

上記のほか、意見聴取会の運営等は、航空・鉄道事故調査委員会運営規則の定めるところによります。

1. 日時及び場所

平成19年1月18日(木) 10時30分～11時30分

委員会会議室

2. 出席者

佐藤委員長 楠木委員 加藤委員 豊岡委員

佐藤委員 中川委員 宮本委員 山口委員

各務事務局長 宮崎総務課長 北村企画調整課長

台木首席航空事故調査官 原田次席航空事故調査官

中桐首席鉄道事故調査官 押立・横井次席鉄道事故調査官

高野・鈴木・佐々木・岩田・村田・清水・田中・武田・南京

鉄道事故調査官

3. 議題等

○西日本旅客鉄道(株)福知山線列車脱線事故に係る意見聴取会について

事務局から、意見聴取会に委員会が公述を委嘱する者(参考人)3名が候補として挙げられ事務局案のとおり了承された。

また、事故等の原因究明のための参考にする関係者、学識経験者の意見(公述)の申込み状況について説明があり、提出された公述申込書及び公述書等を審査した。

4. その他の事項

1. 日時及び場所

平成19年1月24日(水) 10時30分～11時20分

委員会会議室

2. 出席者

佐藤委員長 楠木委員 加藤委員 豊岡委員 垣本委員 松尾委員

佐藤委員 中川委員 宮本委員 山口委員

各務事務局長 宮崎総務課長 北村企画調整課長

台木首席航空事故調査官 原田次席航空事故調査官

中桐首席鉄道事故調査官 押立・横井次席鉄道事故調査官

高野・鈴木・佐々木・岩田・村田・清水・田中・武田・南京

鉄道事故調査官

3. 議題等

○西日本旅客鉄道(株)福知山線列車脱線事故に係る意見聴取会について

18日の委員会における委員の意見をもとに、事務局において作成した公述人及び参考人の案について説明があり、審査の上、案のとおり了承された。

4. その他の事項

1. 日時及び場所

平成19年4月5日(木) 10時30分～16時00分

委員会会議室

2. 出席者

後藤委員長 楠木委員 遠藤委員 豊岡委員 首藤委員 松尾委員

佐藤委員 中川委員 宮本委員 山口委員

各務事務局長 宮崎総務課長 北村企画調整課長

台木首席航空事故調査官 原田次席航空事故調査官

中桐首席鉄道事故調査官 多田・横井次席鉄道事故調査官

高野・佐々木・岩田・村田・清水・田中・武田鉄道事故調査官

3. 議題等

○西日本旅客鉄道(株)福知山線列車脱線事故に係る鉄道事故調査
報告書(案)の審議について

同調査報告について、各委員から意見等があった。

- ・報告書は読みやすく分冊にしてはどうか。
- ・アンケートの結果に対する評価を記述したほうがよい。
- ・意見聴取会の意見について整理をすべきではないか。

○当委員会規程類の一部改正について

事務局から、「委員会及び部会の運営要領」、「事故等調査
報告書作成要領」の一部改正案について、説明があった後、審
議が行われ、事務局案のとおり了承された。

4. その他の事項

○委員会の守秘義務について確認された。

○次回の委員会を平成19年4月19日(木)10:30から開催
する旨確認された。

1. 日時及び場所

平成19年4月19日(木) 10時30分～17時10分

委員会会議室

2. 出席者

後藤委員長 楠木委員 遠藤委員 豊岡委員 首藤委員

佐藤委員 中川委員 宮本委員 山口委員

各務事務局長 宮崎総務課長 北村企画調整課長

台木首席航空事故調査官 原田次席航空事故調査官

中桐首席鉄道事故調査官 多田・横井次席鉄道事故調査官

高野・佐々木・岩田・村田・清水・田中・武田鉄道事故調査官

3. 議題等

○西日本旅客鉄道(株)福知山線列車脱線事故に係る鉄道事故調査
報告書(案)の審議について

同調査報告について、各委員から意見等があった。

- ・運転適性検査の記述は工夫してはどうか。
- ・アンケートの調査情報を記載してはどうか。
- ・列車無線の音声に気を取られたことによりブレーキ使用が遅れた事例の音声については確認しておいたほうがよい。

4. その他の事項

○次回の委員会を平成19年5月1日(火)13:30から開催
する旨確認された。

1. 日時及び場所

平成19年5月1日(火) 13時30分～20時50分

委員会会議室

2. 出席者

後藤委員長 楠木委員 遠藤委員 豊岡委員 首藤委員 松尾委員

佐藤委員 中川委員 宮本委員 山口委員

各務事務局長 宮崎総務課長 北村企画調整課長 鶴見広報対策官

台木首席航空事故調査官 原田次席航空事故調査官

中桐首席鉄道事故調査官 多田・横井次席鉄道事故調査官

高野・佐々木・岩田・村田・清水・田中・武田鉄道事故調査官

3. 議題等

○西日本旅客鉄道(株)福知山線列車脱線事故に係る鉄道事故調査
報告書(案)の審議について

同調査報告について、各委員から意見等があった。

・“タイミング”については“段階”と記述してはどうか。

・速度計の検査について一部補ったほうがよい。

・消防と医療の連携について記述してはどうか。

4. その他の事項

○次回の委員会を平成19年5月11日(金)10:30から開催
する旨確認された。

1. 日時及び場所

平成19年5月11日(金) 10時00分～17時20分

委員会会議室

2. 出席者

後藤委員長 楠木委員 遠藤委員 豊岡委員 首藤委員 松尾委員

佐藤委員 中川委員 宮本委員 山口委員

各務事務局長 宮崎総務課長 北村企画調整課長 鶴見広報対策官

台木首席航空事故調査官 原田次席航空事故調査官

中桐首席鉄道事故調査官 多田・横井次席鉄道事故調査官

高野・佐々木・岩田・村田・清水・田中・武田鉄道事故調査官

3. 議題等

○西日本旅客鉄道(株)福知山線列車脱線事故に係る鉄道事故調査
報告書(案)の審議について

同調査報告について、各委員から意見等があった。

・所見の一部については建議に格上げしてはどうか。

・報告書に採用しなかった膨大なデータは整理しておく必要がある。

4. その他の事項

○次回の委員会を平成19年5月17日(木)10:30から開催
する旨確認された。

1. 日時及び場所

平成19年5月17日(木) 10時30分～17時10分

委員会会議室

2. 出席者

後藤委員長 楠木委員 豊岡委員 首藤委員 松尾委員

佐藤委員 中川委員 宮本委員 山口委員

各務事務局長 宮崎総務課長 北村企画調整課長 鶴見広報対策官

台木首席航空事故調査官 原田次席航空事故調査官

中桐首席鉄道事故調査官 多田・横井次席鉄道事故調査官

高野・佐々木・岩田・村田・田中・武田鉄道事故調査官

3. 議題等

○西日本旅客鉄道(株)福知山線列車脱線事故に係る鉄道事故調査
報告書(案)の審議について

同調査報告について、各委員から意見等があった。

・ブレーキ操作の改良について記述してはどうか。

・法令等の遵守の記述はわかりづらいのではないか。

4. その他の事項

○次回の委員会を平成19年5月24日(木)10:30から開催
する旨確認された。

1. 日時及び場所

平成19年5月24日(木) 9時00分～12時40分

委員会会議室

2. 出席者

後藤委員長 楠木委員 遠藤委員 豊岡委員 首藤委員

佐藤委員 中川委員 宮本委員 山口委員

各務事務局長 宮崎総務課長 北村企画調整課長 鶴見広報対策官

中桐首席鉄道事故調査官 多田・横井次席鉄道事故調査官

高野・佐々木・岩田・村田・田中・武田鉄道事故調査官

3. 議題等

○西日本旅客鉄道(株)福知山線列車脱線事故に係る鉄道事故調査報告書(案)の審議について、事務局から、前回からの修正箇所等の説明があった後、審議が行われ、一部文章表現の修正に関する意見等があり、意見に沿った修正を加えた上で、原因関係者から意見聴取を行うこととなった。

4. その他の事項

○次回の委員会を平成19年6月7日(木)10:30から開催する旨確認された。

1. 日時及び場所

平成19年6月7日(木) 10時30分～17時40分

委員会会議室

2. 出席者

後藤委員長 楠木委員 遠藤委員 豊岡委員 首藤委員 松尾委員

佐藤委員 中川委員 宮本委員 山口委員

各務事務局長 宮崎総務課長 北村企画調整課長 鶴見広報対策官

中桐首席鉄道事故調査官 多田・横井次席鉄道事故調査官

高野・佐々木・岩田・村田・田中・武田鉄道事故調査官

3. 議題等

○西日本旅客鉄道(株)福知山線列車脱線事故に係る鉄道事故調査報告書(案)の審議について、事務局から、原因関係者からの意見聴取内容の説明及び前回からの修正箇所等の説明があった後、審議が行われた。

- ・3.10.3中の“危険性評価”については表現を検討してはどうか。
- ・原因関係者からの意見について、一部意見を反映させてはどうか。

4. その他の事項

○次回の委員会を平成19年6月15日(金)10:30から開催する旨確認された。

1. 日時及び場所

平成19年6月15日(金) 10時30分～15時30分

委員会会議室

2. 出席者

後藤委員長 楠木委員 遠藤委員 豊岡委員 首藤委員 松尾委員

佐藤委員 中川委員 宮本委員 山口委員

各務事務局長 宮崎総務課長 北村企画調整課長 鶴見広報対策官

中桐首席鉄道事故調査官 多田・横井次席鉄道事故調査官

高野・佐々木・岩田・村田・田中・武田鉄道事故調査官

3. 議題等

○西日本旅客鉄道(株)福知山線列車脱線事故に係る鉄道事故調査報告書(案)の審議について、事務局から、前回からの修正箇所等の説明があった後、審議が行われた。

・用語集に一部追加してはどうか。

・付図については修正すべき箇所はないのではないか。

4. その他の事項

○次回の委員会を平成19年6月22日(金)13:30から開催する旨確認された。

1. 日時及び場所

平成19年6月22日(金) 13時30分～14時30分

委員会会議室

2. 出席者

後藤委員長 楠木委員 遠藤委員 豊岡委員 首藤委員 松尾委員

佐藤委員 中川委員 宮本委員 山口委員

各務事務局長 宮崎総務課長 北村企画調整課長 鶴見広報対策官

中桐首席鉄道事故調査官 多田・横井次席鉄道事故調査官

高野・佐々木・岩田・村田・田中・武田鉄道事故調査官

3. 議題等

○西日本旅客鉄道(株)福知山線列車脱線事故に係る鉄道事故調査報告書(案)の審議について、事務局から、前回からの修正箇所等の説明があった後、審議が行われ、一部文章表現の修正に関する意見等があり、意見に沿った修正を加えた上で、議決となった。

4. その他の事項